

「新技術で命を守る」スマートシティ推進事業

【事業名】

＜継続＞「新技術で命を守る」スマートシティ推進事業（「空飛ぶクルマ」も見据えた新たな救急搬送体制づくり事業）
※当初予算計上済事業

・採択額 91,883千円

（事業計画期間 R5～R9年度 補助率(国) 1／2 令和7年度対象事業費 183,766千円）

【事業概要】

大学病院等の高度医療拠点から遠く、人命救助の別れ目とされる「15分ルール」の外に位置する本市にとって、「一人でも多くの命を救う」救急搬送システムの確立が急務。

「空飛ぶクルマ」を医師搬送または救急搬送などに活用し、既存の救急車やドクターカー、ドクターヘリなどの救急モビリティと連携し、助かる命を増やすことを目指すとともに、防災分野においても災害時の物資や人の輸送で活用。

- 「助かる命を増やす」ためのさらなる新技術実装による
QaaSシステム高度化事業
・システムの機能改修など
- 「空飛ぶクルマ」医療・防災利用促進事業
・機体システムの選定や運用体制、離着陸場の検討など
- 「空飛ぶクルマにおける」GISクラウドシステム活用事業
・3D都市モデルを活用したシミュレーションなど

